

会 議 記 録

次の審議会（協議会）を下記のとおり開催したので報告します。

審議会等名称	平成28年度第2回 社会教育委員・公民館運営審議会委員 会議		
開催日時	平成29年3月13日（月）10:00～12:00		
開催場所	西別館2階第6会議室		
出席者 会長◎ 副会長○	〈社会教育委員・公民館運営審議会委員〉 ◎大橋委員長 ○中江副委員長 楠亀委員 佐藤委員 随井委員 松村委員 福井委員 阿加井委員 仙波委員 矢倉委員 吉井委員 中野委員 三木委員 城念委員 重野委員 〈事務局〉 明石生涯学習課参事 村井生涯学習課課長補佐 上野生涯学習課指導主事 岡田生涯学習課副主幹		
次回開催予定日	未定		
問い合わせ先	所属名・担当者名： 近江八幡市教育委員会事務局生涯学習課 岡田 電話番号：0748-36-5533 Fax番号：0748-36-5565 メールアドレス： 045000@city.omihachiman.lg.jp		
会議記録	発言記録・ 要 約	要約した理由	・内容が整理され、記録として残すことに適しているため

事務局	開会宣言と出席者確認
委員長	委員長あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・近畿地区社会教育研究大会滋賀大会への協力のお礼 ・東近江地域社会教育委員合同研修へご参加のお礼 <p>○来年度に向けての社会教育委員会のあり方について、社会教育委員会議としてどのような方向性を持っていくのか、本日は話し合いたい。</p>
事務局	資料の確認 → 議事を交替 (議長の大橋委員長による議事進行)
委員長	平成28年度生涯学習課の取り組みについて(報告)
事務局	《平成28年度生涯学習課の取り組みについて説明》 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習推進事業 昨年度から学校図書館のリニューアル事業を実施し、昨年度は武佐小学校、今年度は北里小学校 ・学校支援本部事業 学校支援地域コーディネーターを、公立すべての幼稚園、こども園、小学校、中学校に配置。来年度は公立の2つの保育所にも配置 人生伝承塾の講師を今年度新たに2人登録 学校支援メニューフェアでは47の出展団体、395人の参加者 ・家庭教育支援活動事業 家庭教育支援コーディネーターを市内8小学校(沖島、岡山、金田、馬淵を除く)に配置 ・公民館運営事業 中央公民館講座を4回開催 市民大学講座 人権映画上映を3回、地域の食材を使った料理教室を3回開催 ・地域課題講座 5地域で8回開催 ・青少年対策事業 「中学生広場 伝えよう!熱い思い2016」では近江八幡市PTA連合会、近江八幡市青少年育成市民会議、近江八幡市就学前教育協議会との共催のもと、509人が参加 ・自尊感情・学びの礎育成プロジェクト推進事業 今年度3中学校区で県の指定を受けて実施、来年度はすべての中学校区で実施
委員長	説明について意見・質問等を求める。
委員	・第1回でも質問しました家庭教育支援活動事業ですが、会議の中で生涯学習課の

事務局	<p>あり方を検討していくということでしたが、会議でどのようなことが出たのか、それに基づいて生涯学習課としてどのように取り組んでいるのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力のことでたずねたときに教育長から、ふるさと学習、家庭教育、図書館教育の充実が今年の3つのポイントとお話しがあったが、どういったことをされたのか。 ・家庭教育支援活動事業をすべての小学校で実施することを目指しているが、コーディネーターとの連携がうまくとれていないこともあり、8小学校にとどまっている。 ・ふるさと学習では、近江八幡市の魅力を教職員に知っていただき、近江八幡市に住んでいる子どもたちに伝えていこうと、教職員を対象にふるさと学習講座を実施。 ・図書館については来年度20周年の記念事業を実施、図書館に少しでも地域の人に足を運んでもらおうと計画 ・家庭教育の支援では、今まで以上に保護者への働きかけが必要
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館20周年記念事業ですが、小学生、中学生、いろんな人に図書館に足を運んでほしいと思うのですが、それを進めるしかけがあればいい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援メニューフェアの開催を、参加の枠が広がるので休日開催を検討してもらえるといい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の見本市として実施しており、学校の先生方が対象となっている。そのため、夏休みの平日に開催。いろんな方へ呼びかけをさせていただき、2年前から人権研修の一環でPTAの方にも参加いただいています。それを中心にということではないので、その辺も配慮させていただきながら進めてまいります。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・中央公民館講座、市民大学講座のアンケート結果の検証が、今回の資料に反映されるといい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域コーディネーターの任期を3年ぐらいで設定されるほうが、違ったつながりのボランティアが活躍できるのでは。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域コーディネーターの対人関係は大切。ボランティアから学校へ何かすることはないか、つながりがある人へボランティア参加の巻き込み等、ボランティア側から学校支援地域コーディネーターのカバー。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援地域本部事業は、校長先生、教頭先生がかわられても地域の行事として学校が実施していけるようコーディネーターが活躍。事務局として、また県の事業でもありますので、調整させていただきながらすすめてまいります。 <p>家庭教育支援基盤形成事業ですが、国・県・市としての事業で、中学校、小学校を対象の事業。近江八幡市としては小学校で広げていこうとしています。小学校のこ</p>

委員長	<p>ーディネーターが情報交換する中で、支援の方法を検討してまいります。</p>
事務局	<p>平成28年度近江八幡市生涯学習推進実施計画進捗管理について（報告）</p> <p>《平成28年度近江八幡市生涯学習推進実施計画進捗管理について説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施計画に掲げる各事業に関して、事業目的に沿って具体的な年度と目標を定め実施しました。全体を通しておおむね、年度の目標を達成しました。 ・4段階評価の中、目標を上回って達成としたものが10事業、ほぼ達成としたものが43事業でした。 ・教育大綱を受けまして、ふるさと意識を育むというところがこれまでの構想に加えて柱となっているところです。このことにつきましては、目標をほぼ達成できたという事業が15事業中13事業でした。 ・家庭教育の再生のための事業については、目標をほぼ上回って達成したという事業が7事業中5事業でした。 ・課題としましては、多くの事業で参加者の増加や事業利用の拡大をみましたが、その一方で参加者の固定化、世帯による偏りがみられた。今後、内容や実施の方法の改善、情報発信のさらなる改善が必要である。 ・まちづくり協議会等の委託事業や指定管理に移っているものは、行政の関わりを明確にして、環境の整備、支援のあり方について検討の必要があるという評価です。 ・生涯学習づくり構想の理念の評価ですが、新しい構想が掲げる3つの柱の中で、「人が学ぶ」という点につきましては、一定の評価をあげた。一方そこから発展する「人がつながる」「人がつくる」という柱については、まだまだこれから進めていく必要がある。 ・本市は中央公民館という施設は持たないわけですが、中央公民館として実施する講座につきましては、施設がないということから市民全体の事業であるという認識が弱いのではないかとということで、講師陣の陣容見直しや、地域のものとしての意識が強いコミュニティセンターを借りて開催のため、市民全体のものとしての意識につながりにくいこともあり、会場の見直し等によって差別化をはかっていきたい。
委員長	<p>説明について意見・質問等を求める。</p>
委員	<p>・行政とそれぞれの役割を明確にし、あり方を検討する必要があるというのは、いつまでに検討されて結果を出すのか。</p>
事務局	<p>・関係する課がまたがっているため、当課だけではいつまでには申し上げられにくい。毎年の評価の中で少しずつではありますが、見直しは行っております。</p>
委員	<p>・進捗管理結果のところ、家庭教育の再生のための事業で目標を下回ったところはどこか。また、この評価は27年度に決めた28年度の目標という数値となるが、この資料ではその数値がわからない。そのため成果値がでてこない。</p>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「子ども文化芸術賞」「家庭教育推進事業」がおおむね達成ということです。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育推進事業で扱う家庭教育の範囲は。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てに不安を持っておられる保護者の気持ちを楽しにするというのが範囲です。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・この報告は進捗管理の報告ですので、目標値である以上、数値を示すというのが普通ではないか。数値をあげていないものもあるので、数値化できるものはできるだけ数値化する方が曖昧さはなくなる。
事務局	<p>市民の生涯学習のニーズに社会教育委員会議として何ができるかについて（報告）</p> <p>《市民の生涯学習のニーズに社会教育委員会議として何ができるかについて説明》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の役割について共通認識 ・近江八幡市平成28年度第2回市政モニターアンケート「生涯学習に関するアンケート」を資料として提示し、この結果を踏まえて、市民の生涯学習のニーズに社会教育委員会議として何ができるのか、ご意見をいただき、今後の会議に反映していきたい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員の役割ということで、社会教育法に基づいて社会教育委員会、社会教育委員の役割はどういうものなのかを確認してもらった上で、社会教育委員会議がこれでいいのかということで意見をいただきたい。 ・社会教育委員として5年目になるが、委員として何かをした実感はまったくない。社会教育法にのっとって社会教育委員会として、社会教育委員として何かできないかという思いを強く持っています。 ・長浜市でも社会教育委員をしています。社会教育委員の原点に戻って見直しを行いました。公民館活動と学校教育との部会を設けました。委員をどちらかの部会に貼り付け、それぞれが積極的に自主研修を行っていただき、社会教育委員としての自覚を持っていただき、社会教育委員会議としての一定の役割を果たしていく方向に変えました。 ・忌憚のないご意見をお聞きし、次年度以降につなげていきたい。委員のみなさんは独自でいろんなところで活躍していただいています。社会教育委員会議として、社会教育委員として何かやろうということがなかったように思います。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会で生涯学習、中央公民館のあり方について答申をしたが、教育委員からは何の援護もない。何の意見も通っていませんでした。 ・教育委員会が社会教育委員に、どのように対応されるのか。 ・社会教育委員とは何なのかという提案は何回かしている。慣例で同じようなことをしては進歩がない。その辺を教育委員会でお考えになってはどうでしょうか。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・近江八幡市として中央公民館をどうしていったらいいのかについて、熱い議論が

<p>委員長</p>	<p>あった。事務局で一定のまとめをしていただいた。あの議論はどうなってしまったのか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人に何かしてもらおうとする時に、我々として、今こういう課題があるのではないかという提案ができる形をつくっていく必要がある。 ・中央公民館のあり方を考えるときに申し上げたのが、このままでは学区ごとの格差が生じる。最低限全部の学区で達成していくべき課題はつくっていかなくてはいけない。それが中央公民館の役割としてあることを申し上げた。 ・我々は市全体にどうするのかを言える、言ったらそれが何らかに反映されるようにしなくてはいけない。 <p>・今後委員会を存続させていくというのであれば、まちづくり協議会との協力を求めていって、お互い協力し合って行政の意向を伝え、それを反映していただける関係になっていけばいいと考えます。そのために、まちづくり協議会との関係のあり方について知恵を出していただけるといい。</p>
<p>委員</p>	<p>・生涯学習課の人材を多く削減された時に、生涯学習課のほとんどをコミュニティセンターに移行するという話をされた。生涯学習課の責任をもってコミュニティセンターに対して、地域の生涯学習を育てていくということで、生涯学習課の機能を分散された。その後のフォローはどうなっているのか。</p>
<p>委員</p>	<p>・安土にコミュニティセンターができた時、公民館長から生涯学習課の職員が分かれて、各コミュニティセンターに生涯学習の指導をしていくという話であったが、1年間何の動きもなかった。</p> <p>・社会教育委員の役割が全国的にも曖昧である。自分は自分なりにできることからしていくべきだと感じた。地域と学校支援地域コーディネーターをつなげることで、社会教育の場の広げ方をさせてもらっています。</p>
<p>委員</p>	<p>・社会教育委員の役割については、何十年来動けていない。</p> <p>・生涯学習の実績を評価する会議だけではなくて、自分達が意識を持って、委員のみなさんの知恵を集めて、社会教育委員の役割を進めていくべきである。</p> <p>・社会教育は、すぐに結果がでるものではないが、自分の専門エリア、地域の情報を含め、それぞれが良い情報をもち合わせながら、地域に関わって地域の弱いところ、良いところを、ここにあげてこない部分で委員として拾い上げるべき。</p> <p>・長浜市で部会制をされるということで、近江八幡市でも進めてはどうかと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>・城念委員と同じ意見であります。長浜市では原点に戻って見直しをされたということですが、近江八幡市でも部会制をもって、大橋委員長にリードしていただき、社会教育委員としての活動をみなさんといっしょに展開していきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>・近江八幡市として、この部分に力を入れてやろうということをしぼっていったら、</p>

委員	次にすすめていければすばらしい。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題を定めて目標をつくらないとだめ。何をするかは別として考え方は賛成です。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会制設置の前向きなご意見をいただきました。 ・ これまでのやり方を改めて、部会制に向けて、次年度でお知恵をいただきたい。 ・ 次年度の第1回の会議までに、どのような重点課題があって、それに対してどういう形で部会をもうけて、どういう活動をしていくかにつきまして、それぞれで考えいただきまして、意見をだしていただきたい。
事務局	最後に連絡事項について 《来年度のスケジュールについて説明》
委員長	閉会